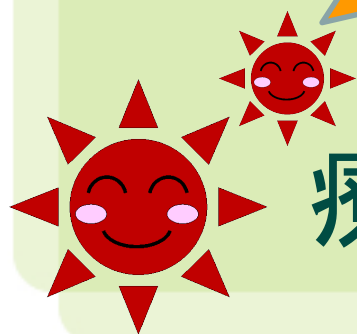


富田林市民限定 発達障がい児等療育支援事業

Sun+ (サン・プラス)



平成31年度 療育児募集について

こども発達支援センターSun

こども発達支援センターSunとは

- 発達障がい療育事業を実施する事業所
- 個別の療育プログラムに基づいた支援を実施

療育の対象者

- ・ 富田林市に在住
- ・ 概ね2歳～小学2年生まで
- ・ 発達に課題のある児童とその保護者（医師等の意見書等が必要）

募集から通所決定まで

- 募集期間

平成31年2月12日～**2月20日(必着)**

郵送もしくは、直接Sunまたはこども未来室へ

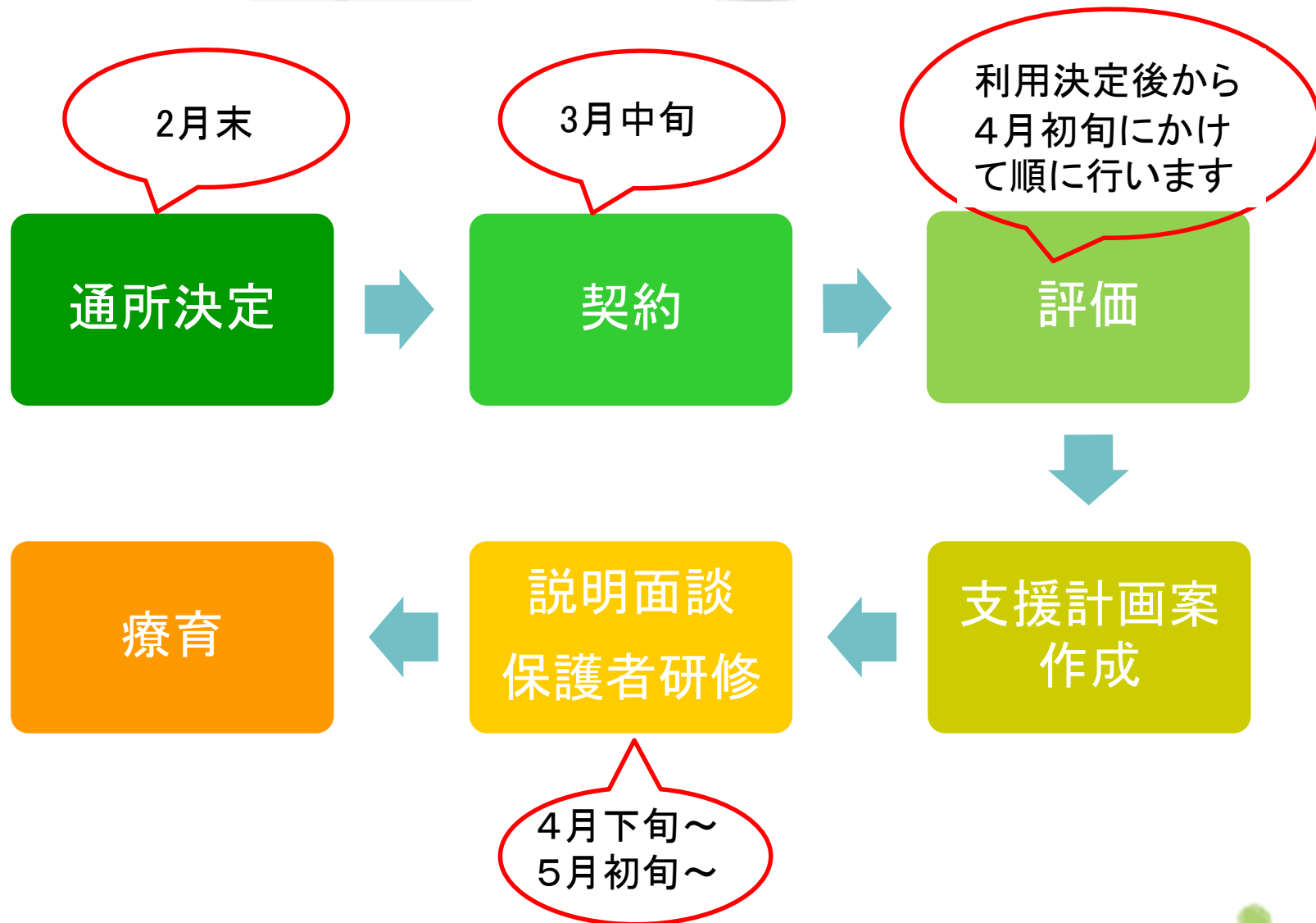
- 選考方法

初めて療育を受けられる方、H31年度のSunの抽選に漏れた方を優先とし、応募者多数の場合は**抽選**

- 結果通知

平成31年**2月25日**発送予定

通所決定から療育まで



利用について

- 利用決定後、市役所障がい福祉課で児童発達支援(もしくは放課後等デイサービス)利用のための受給者証の申請が必要です
- 児童発達支援センター(しょうとく園)及び児童発達支援事業所又は、放課後等デイサービス事業所をご利用の方は、同一日のサービス利用はできませんので、予めご了承ください

利用料について

- 児童発達支援(又は放課後等デイサービス)利用について国が定める利用者負担額を徴収させていただきます(利用料は、利用決定後にお知らせします)


(1回の利用につき)

幼児は1100円程度、

学齢児は950円～1100円程度

※学齢児は平日の利用と、夏休み(冬休み)などの利用では負担額が異なります。

- プログラムの内容によっては、実費を徴収させていただきます



発達障がい療育事業

Sunの療育について



Sunの療育について

- 1年間
- 1回1時間、概ね月2回、年間20回程度
(個別面談を含む)
- 保護者同伴
- 保護者研修 月1回
- マンツーマンの個別指導
- 定員 20名(うち小学生は4名まで)

個別療育とは

- こどもの発達にあわせた支援
- こどもに理解しやすい環境の調整
- 視覚的な手がかり等を積極的に用いて実施
- 担当制（スタッフがこども一人ひとりについて対応）
- チーム体制で支援

マンツーマン対応



チームアプローチ

- 療育後すぐに振り返り

- 翌日全員で振り返り



週間プログラム(H31年度予定)

ご家族のご希望と発達検査の結果を基に総定員84名で調整します。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:00～ 11:00	療育	療育	療育	保護者 研修	療育
11:15～ 12:15	療育	療育	療育	学習会 など	療育
13:00～ 14:00	療育	療育	療育		療育
15:30～ 16:30	療育	療育	療育	療育	療育

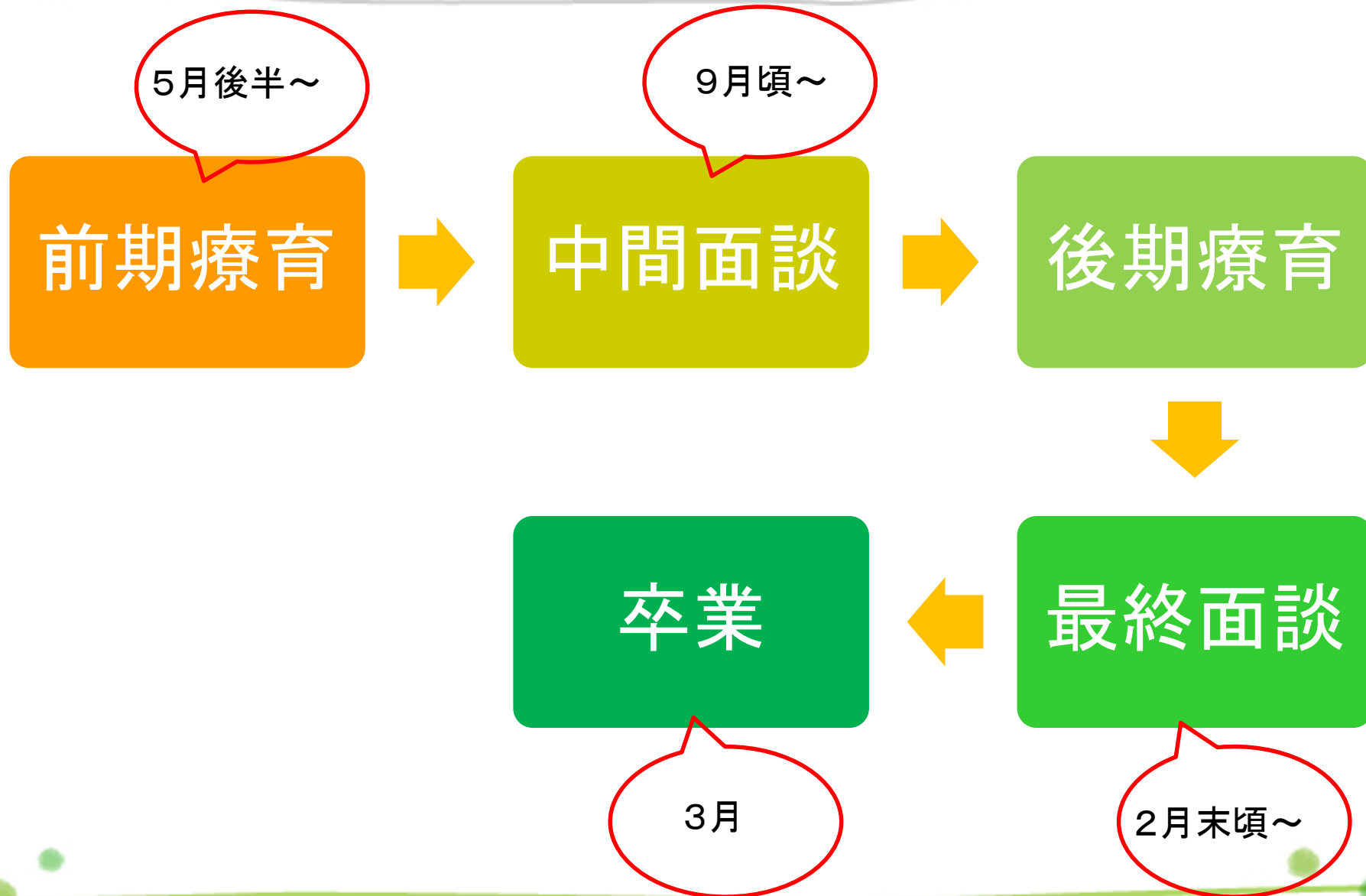
個別支援計画 作成

- ・ 発達の評価⇒行動観察、発達検査など
- ・ 保護者からの情報⇒
 - 希望調査票・生活調べ表・生活地図
 - 好き嫌い調べ・生活スキルチェック表等
- ・ 個別支援計画作成(案)
- ・ 保護者との面談
- ・ 療育開始⇒再評価

療育計画

- 個別支援計画に基づいて、1回ずつ療育計画を作成し実施
- 療育計画作成にあたっては、療育終了直後にスタッフ間で振り返りを実施
- また、家族との連絡帳や療育中に近況を伺うことで、療育計画に反映

療育の流れ



療育は2本立て

- こどもへの支援
- 保護者への支援

こどもへの支援

- 日常生活のための支援
 - スケジュールの活用、日常生活動作
- 社会生活のための支援
 - コミュニケーション支援、学習支援、
ソーシャルスキルトレーニングなど
- 余暇に関する活動支援
- その他

具体的には・・・

- ・ こどもが、何に困っているかを考える
- ・ 困っていることへの対処の方法を教える
- ・ 得意なことを伸ばし自信に結びつける
- ・ 特性のために苦手としている部分へのアプローチ
- ・ 余暇の開拓
- ・ 自立を目指す

保護者への支援・・・そして協働

- 医療、福祉、生活の相談 一緒に考えましょう
- 家庭での対応方法などの提案
- 健康についての相談

具体的には・・・

- ・ 特性を踏まえたこどもが理解しやすい伝え方、環境調整の方法を学ぶ
 - ☆一人一人違う
 - ☆こどもの苦手を知る
- ・ こども一人ひとりに合わせた対応方法を考える
 - ☆教え方などの工夫を一緒に考える
 - ☆生活の中の困っていることへのアドバイス

保護者研修

Sun+の研修もSunの研修会と同じ日時に行います。

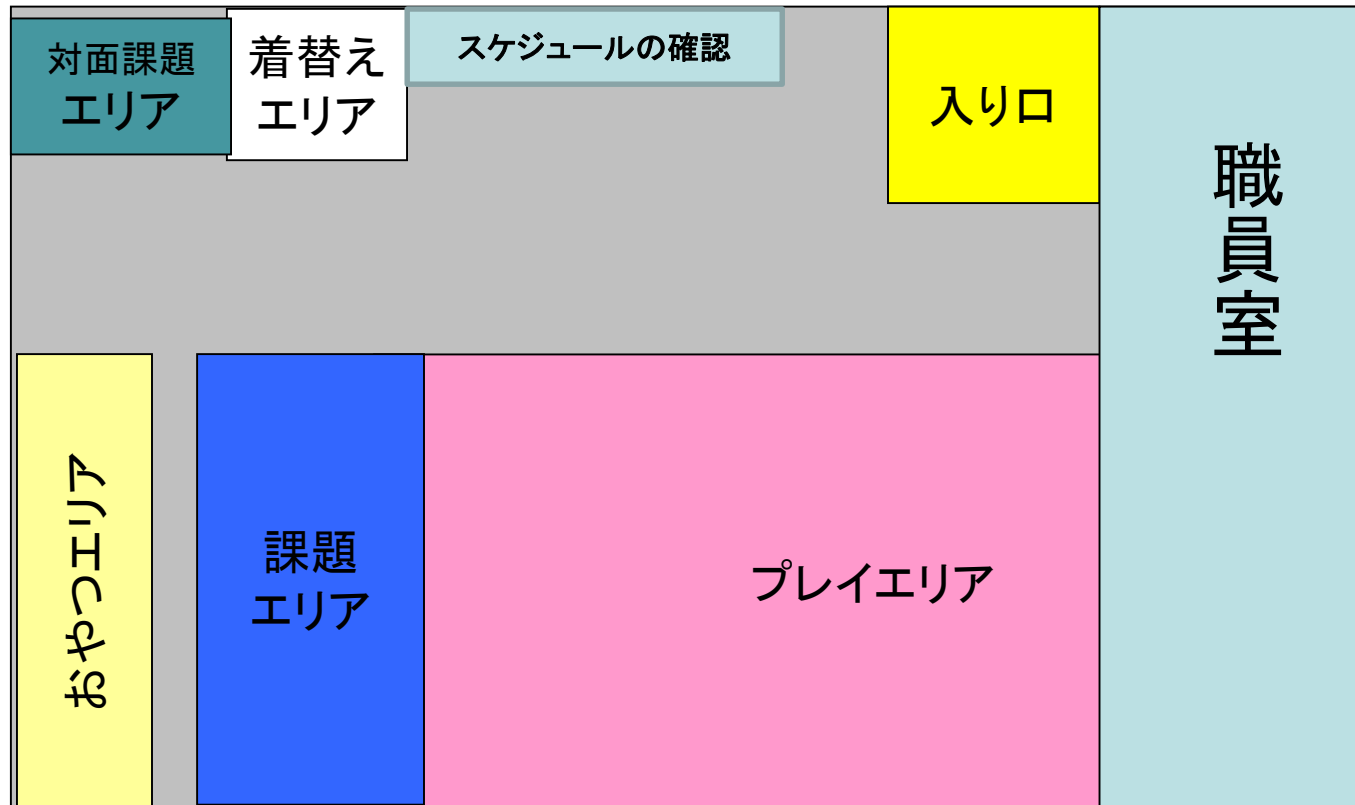
平成30年度

月	テーマ
5月	障がい特性の理解
6月	評価と課題分析
7月	コミュニケーションについて
9月	「わかりやすくつたえる」 構造化について
10月	構造化と自立課題作り
11月	家庭での取り組み～ ゲスト講師
12月	サポートブック作り
1月	進路にむけて～ ゲスト講師
2月	行動上の問題の理解と対応
3月	実践報告会

構造化

- 自分の周りの世界や情報を理解して、安心して自主的に行動したり、学習や生活することができるように、時間の流れや活動内容等を、その人に合わせてわかりやすく示す方法
- 場所の意味を知らせる(物理的構造化)
- 状況の推移を知らせる(スケジュール)
- 内容や長さを知らせる(ワークシステム等)
- 注目して欲しい所を知らせる(視覚的構造化)

Sun療育室







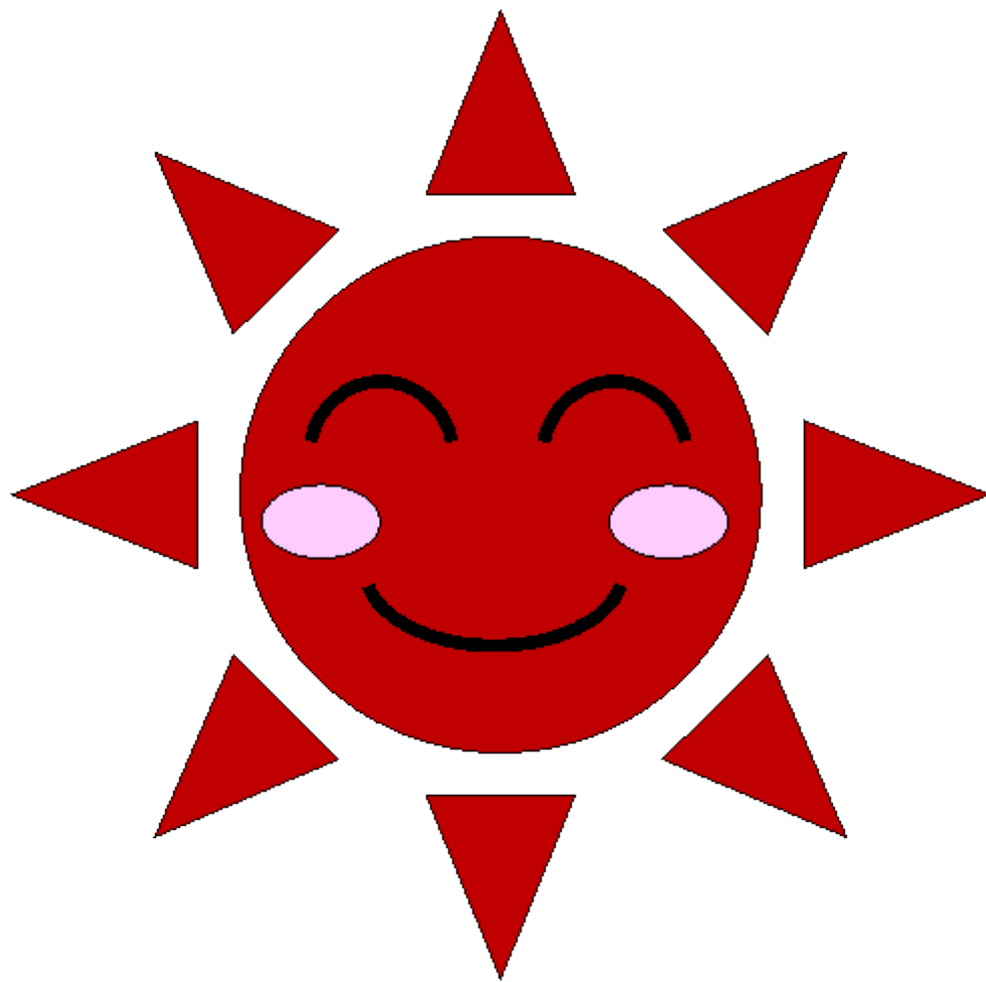








Sunのロゴマーク




スケジュール



スケジュール



きSUNのおべんきょう

- 0 「こんにちは」 
- 1 あそぶ
- 2 おべんきょう
- 3 あそぶ
- 4 おべんきょう
- 5 あそぶ
- 6 おべんきょう
- 7 あそぶ
- 8 たなかさん と おべんきょう
- 9 おやつ
- 10 おわり

課題エリア



ワークシステム



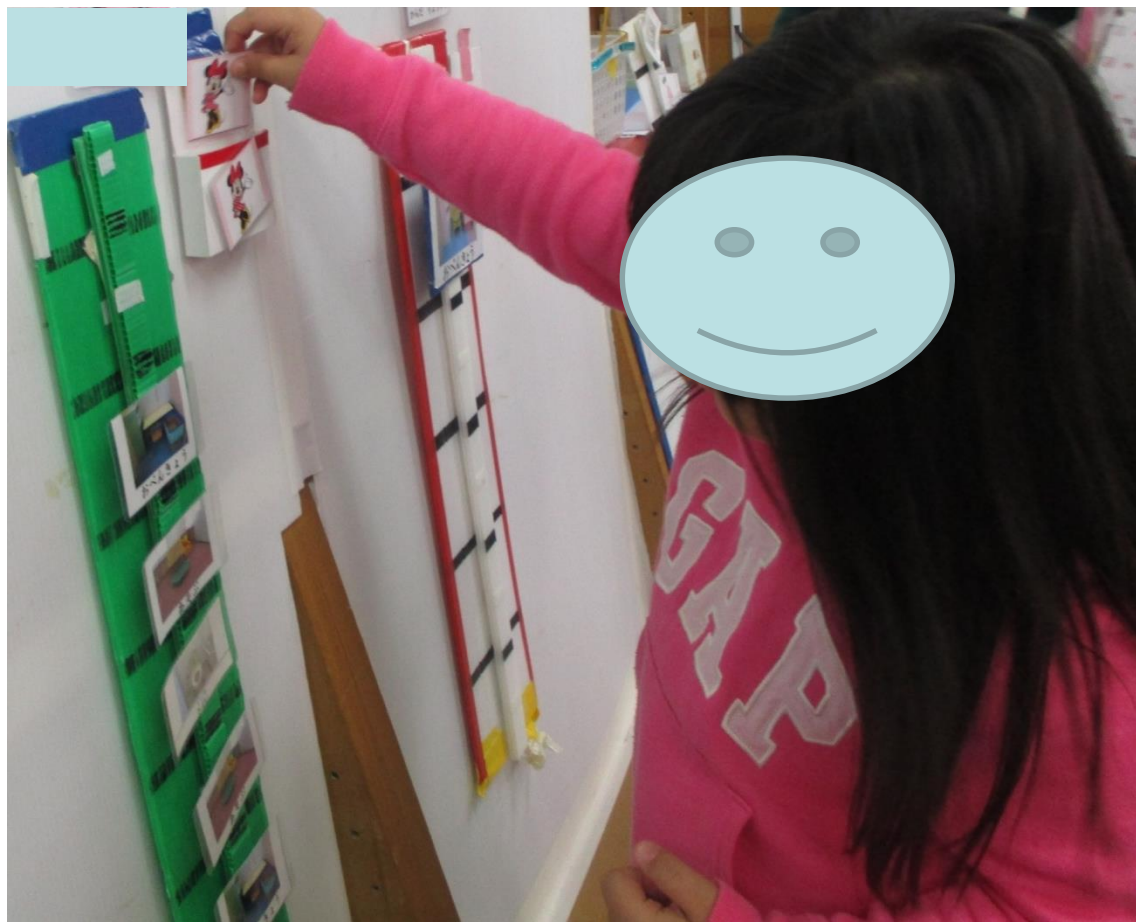
㊦カードを
入れる

㊩カードを取る

㊨机の上
でお勉強

㊪終了箱

スケジュール(予定)の確認



対面課題



自立課題(一人でおべんきょう)



PECS (絵カード交換式コミュニケーションシステム)

(Picture Exchange Communication System)



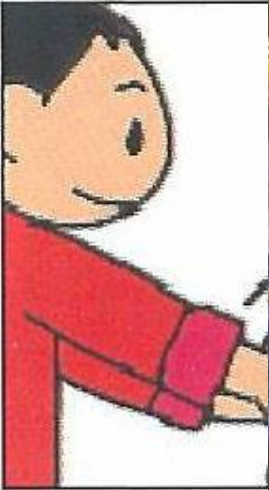
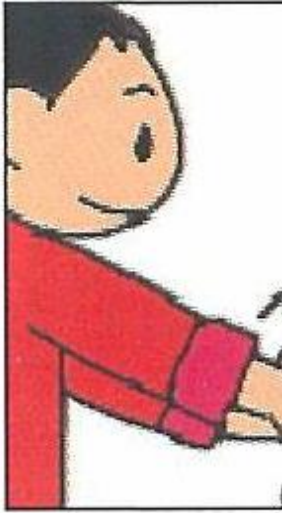
コミュニケーションの練習





洗面所(市民会館給湯室)





Sunの療育

- Sunの療育は保護者との協働
- 療育の般化
 - Sunだけでできても意味はない
- 発達の初期に基礎を築くことが大切

こどもの未来のために
今、できることを一緒に
考えて行きませんか？

見学を希望される方については、
16:30以降の時間帯で
療育室を見ていただくことができます。
電話にてお問い合わせ下さい。

お疲れ様でした
おわり

